

愛知県立一宮工科高等学校で防災講座を行いました

令和6年9月12日（木）、愛知県立一宮工科高等学校で水害と地震の防災講座を行いました。この講座は、都市工学科の授業カリキュラムに組み込まれており、今年が5年目となります。2年生23名を4回に分けての実施で今回が初回の講座でした。

水害の講座では、伊勢湾台風や東海豪雨など過去に発生した風水害について学習し、堤防決壊実験やVRによる浸水疑似体験を行いました。皆さんVR体験は初めてとのことで360度見回している様子が見られ、体験後には怖かった等の声が聞かれました。

地震の講座では、濃尾地震など過去に発生した地震や元日に発生した能登半島地震について学習しました。その後、ハザードマップで学校や自宅の揺れやすさ・液状化危険度を確認し、一宮市でも発生の危険性がある液状化についての仕組みを学ぶ実験を行いました。

講座を通して、「すぐに避難できるようにしようと思った。」、「災害は危ないので正しい判断をしたい。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

水
害



地
震

